

平成 21 年 5 月 8 日現在

研究種目：基盤研究(B)
研究期間：2006 ～ 2009
課題番号：18330122
研究課題名（和文）生活保護における自立支援の在り方に関する研究
研究課題名（英文）Study of support for independence in public assistance

研究代表者

岡部 卓 (Okabe Taku)
首都大学東京・都市教養学部・教授

研究者番号：40274998

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会福祉学

キーワード：生活保護、自立、自立支援、自立支援プログラム、ワークフェア、
就労自立、日常生活自立、社会生活自立

1. 研究計画の概要

生活保護行政において自立支援プログラムが 2005 年度に導入され、全国すべての自治体で数多くのプログラムが実施されるようになってきている。そこで、本研究では、生活保護制度における自立支援に関する理論的・歴史的・実践的検討を行なうとともに、自立支援プログラムの全国動向を分析するとともに自立支援プログラムで成果を挙げている先駆的自治体を対象に調査を行い、それを素材に自立支援の検討を行なう。

昨年度においては、次の事項を行なった。

(1) 研究会を組織し定期的開催し、研究報告並びに意見交換を行なった。また夏季合宿を行ないそこでも研究の成果について議論を深めた。

(2) 自立支援に取り組む先駆的自治体である京都府山城北福祉室（福祉事務所）を対象として、利用者インタビュー調査、支援者インタビュー調査、福祉事務所の組織的取組みに関する資料的検討をそれぞれ実施し、自立支援の取組みの成果を明らかにした。

2. 研究の進捗状況

1 (1) については、生活保護における自立がどのようにとらえられてきたのかについて、生活保護法における行政解釈や国の委員会報告等での見解を通し、自立の観念が経済的自立を超えて幅広く解釈されるようになったこと、ソーシャルワーク実践の観点から指導・指示に基づく対人援助と相談・助言

に基づく対人援助の違いを提示し、また、自立支援が生活保護におけるこれまでの対人援助活動にどのように位置づけられるのかを明らかにした。

1 (2) については、自立支援プログラムが生活保護行政およびソーシャルワーク実践にもたらした意義と課題をそれぞれ昭等かとなった。とりわけ支援者の自立に向けた個別的支援活動や組織的活動は利用者の満足・成果としてあらわれていることが調査を通して明らかとなった。

3. 現在までの達成度

理論的・歴史的・実践的検討や調査結果については、これまで学会報告や雑誌、書籍等で発表している。そして、それ以外にこれまでの研究会の議論の成果について、書籍が出版される（『生活保護制度の展開と自立支援』ミネルヴァ書房）近刊を、また京都府山城北福祉室（福祉事務所と研究代表者・研究分担者の連盟で調査報告書を発刊している（2009. 3）。

4. 今後の研究の推進方策

今年度は、過去 3 年間の研究成果を基に主としてこれまでの研究上の到達点と今後の研究課題を提示することを主眼として行なう。具体的には、次の 5 点である。

(1) 理論研究

生活保護制度に於ける自立および自立支援がどのようにとらえられてきたのか、また

他福祉領域における自立支援はどのようにとらえられてきたのかを、先行研究から明らかにし、生活保護領域と他福祉領域の異同性を明らかにする。

(2) 歴史研究

これまで検討してきた次の事柄について研究上の到達点と今後の研究課題を提示する。

- ① 制度対象をどのように設定し対人援助を行ってきたのか、対象論・制度論・方法論の観点から歴史的に跡づける。
- ② 対人援助のフィールドである福祉事務所、保護施設等がどのような対人援助・支援を行ってきたのか、明らかにする。

(3) ソーシャルワーク実践研究

これまで検討してきた下記の事柄について研究上の到達点と今後の研究課題を提示する。

- ① 個別支援プログラムの検討を行なう。
- ② 自立支援プログラムの作成・実施・評価についての検討や実施に当たっての手順や推進体制の検討を行なう。

(4) 調査研究

- ① 全国自治体の動向を既存調査を通して明らかにする。
- ② 先駆的自治体の既存ヒヤリング調査の精査を行なう。

(5) 外国研究

これまで検討してきた諸外国の調査研究の検討を加え、できたらこれまで調査研究を行なった国への調査研究を行なう。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計8件)

- ① 新保美香、生活保護における就労支援について、明治学院大学 社会・社会福祉学研究(明治学

院大学)、無、131号、2009、147~167.

- ② 岡部 卓、自立支援の考え方と意義、全国社会福祉協議会「生活と福祉」、無、No.627、2008、22~25.
- ③ 長友祐三、要保護者の自立に向けた効果的な援助・支援の実現をめざして、月刊生活と福祉、無、632、2008、8~11.

〔学会発表〕(計3件)

- ① 岡部 卓、生活保護における自立支援、社会保障法学会第54大会、2008. 10. 12.、東洋大学 白山キャンパス.

〔図書〕(計19件)

- ① 社会福祉養成講座編集委員会(六波羅詩朗)、中央法規、新・社会福祉士養成講座・低所得者に対する支援と生活保護制度、2009、46(42~46、127~168).

〔産業財産権〕

○出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕